

## 常任理事会だより

### 山川智之

本稿では、前号で報告後、2022年11月18日、12月16日、2023年1月20日、2月24日に開催された計4回の常任理事会の内容のうち、主なものをお伝えするとともに、日本透析医会の主な活動について、執筆時点の2023年2月下旬までの当会の動きとして報告させていただきます。

#### 1. 新型コロナウイルス感染症に対する対応について

前回報告時点の10月下旬頃からCOVID-19透析患者の患者数は増加し、第8波が到来しました。第7波と同様に感染力の強いオミクロン株のため、多くの施設で軽症患者は外来対応をしていただきましたが、それでも入院を要する患者の増加のため、一時は入院病床が逼迫し、中等症でも入院が困難であった地域もあったようです。幸い1月も後半になると、感染者数が山を越え、執筆時点の3月上旬の時点では落ち着いた状況となりました。第8波の期間、外来施設も含め厳しい状況でコロナ対応をしていただいた会員施設の皆様には深く感謝申し上げます。

2023年1月27日、政府はCOVID-19について、これまで感染症法上の扱いを新型インフルエンザ等感染症としていたものを、5月8日から5類感染症に位置づけることを決定しました。透析患者についてはここまでCOVID-19については入院を原則としており、これがCOVID-19透析患者を外来対応する場合の、行政による通院送迎の根拠となっておりましたが、5類扱いになった場合、このような行政の対応はできなくなります。一方で、透析患者が感染した場合、今後も時間的・空間的隔離は必要であり、透析施設は少なくないコストを払う必要があることは明らかであることから、2月2日、秋澤会長および副会長2名が厚生労働省を訪問し、保険局医療課あてに「新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけ変更に際しての診療報酬上の特例の維持に関する要望書」(資料1)を提出し、眞鍋馨医療課課長に短い時間ではありますが、透析医療の現場の状況について直接話を聞いていただきました。

また、2023年3月13日以降、マスクの着用を個人の選択を尊重するという方針を政府が出しましたが、透析施設は重症化リスクが高い透析患者が集団で治療を受ける環境にあることから、2月20日に日本透析医会・日本透析医学会・日本腎臓学会新型コロナウイルス感染対策合同委員会より、これまで同様にすべての医療従事者およびすべての透析患者に対して透析施設内でのマスク着用を推奨するという内容の「透析施設におけるマスク着用の考え方について」を公表しました。

5月以降5類移行による感染拡大も考えられ、今後の状況は不透明ですが、会員施設を始めとす

令和5年2月2日

厚生労働省保険局医療課  
課長 眞鍋 馨 殿公益社団法人 日本透析医会  
会長 秋澤 忠男

### 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけ変更 に際しての診療報酬上の特例の維持に関する要望書

現在、全国の透析医療施設は、感染伝播力の非常に強い新型コロナウイルスに対して、院内感染を防ぐため最大限の配慮を行いながら、患者への透析治療を継続しています。

透析患者は感染時の重症化リスクが一般患者と比較し高いため、感染者に対しては入院治療が原則でした。しかしオミクロン株が主流となった令和4年以降は、感染規模の拡大のため、外来透析施設でも対応せざるを得ない状況となっています。

しかし、透析治療は、一か所で多人数の患者を長時間同時に治療を行う必要があり、新型コロナウイルス感染患者の治療には、院内感染を防ぐため時間的・空間的隔離を行い、また週3回の通院についても、他の患者と動線を分けるなどの特別な配慮が必要となり、透析医療機関は多大な人的・物的コストを払いながら治療を継続している実態があります。

感染症法上の位置づけの変更の際に、診療報酬上の特例の見直しも検討されているとかががっています。しかしWITHコロナの時代においても、コロナ陽性透析患者の治療には、特別な配慮が必要です。したがって、以下を要望します。

#### 記

コロナ陽性通院透析患者の治療には、現在の診療報酬上の特例の加算(950点)を継続していただくよう要望いたします。

#### 資料1

る透析医療機関のこれまでの努力に対する感謝とともに、今後も感染対策を引き続きよろしく願い申し上げます。

#### 2. 日本透析医会研修セミナーについて

日本透析医会春期研修セミナー「透析医療における Current Topics 2023 (東京開催)―日本のCKD・透析医療・SDGsの視点からの再考―」を日本透析医会総会と同日の2023年5月21日(日)対面形式で開催します。また2023年度秋期研修セミナー「透析医療における Current Topics 2023 (千葉開催)」は「目を向けよう・我が国の透析医療を取り巻く問題」をテーマとして千葉市で2023年10月29日開催予定となっております。

### 3. 厚生労働科学研究

令和2年度より3年の予定で進めてまいりました厚生労働科学研究費補助金（腎疾患政策研究事業）「慢性腎臓病患者（透析患者等を含む）に特有の健康課題に適合した災害時診療体制の確保に資する研究（研究代表者 山川智之）」が令和4年度で最終年度を迎えました。

令和4年度は、これまでの研究成果を踏まえ、さまざまな形の大災害に対応できるような透析医療の災害時診療体制を構築するために、透析施設や透析関連団体、患者、行政等に対する各種提言を行い、またこれらの提言を簡便にまとめた透析患者向けの災害対応に関する教育資材を作成、医療者、透析患者向けにホームページに掲載する啓発資材を作成し、さらに医療者、行政関係者向けに本研究を踏まえ作成された提言に関するWEB講演会を2023年2月3日に行いました。

本研究においては、透析医会会員を始めとする多くの関係者に多大なご協力いただきました。この場ではありますが、深く感謝を申し上げます。

### 4. 令和4年度日本透析医会公募研究助成金について

日本透析医会は、例年、腎臓病、腎不全医療研究者に対する公募研究助成を行っておりますが、令和4年度の公募研究助成については26件の応募があり、2023年1月20日開催の研究助成審査委員会において外部委員を含め厳正、慎重に審査した結果、10件に対し総額20,000千円を助成することといたしました。詳細はホームページに掲載しております。

## 新型コロナウイルス感染症への取組状況

年月日	日本透析医会 新型コロナウイルス感染対策ワーキンググループ	日本透析医会・日本透析医学会・日本腎臓学会 新型コロナウイルス感染対策合同委員会
2022年 11月 1日	【論文紹介 85】 「COVID-19 ワクチン接種が COVID-19 後遺症発症と症状に及ぼす影響：系統的レビュー」(HP)	
11日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数(2022年11月9日時点)(HP)
22日	【論文紹介 86】 「オミクロン変異株主体の流行期に SARS-CoV-2 感染により7日間隔離された学生アスリートの隔離期間終了後の抗原検査陽性率」(HP)	
25日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数(2022年11月23日時点)(HP)
12月 6日	【論文紹介 87】 「新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)感染の回数と後遺症の関係」(HP)	
9日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数(2022年12月7日時点)(HP)
20日	【論文紹介 88】 「RECOVAC Immune-response Study: CKD, 透析, 腎移植患者における COVID-19 ワクチン接種の免疫原性, 忍容性, 安全性について」(HP)	
28日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数(2022年12月27日時点)(HP)
2023年 1月10日	【論文紹介 89】 「医療施設における感染予防対策としての無症候者への SARS-CoV-2 スクリーニング検査, 課題と留意点」(HP)	
13日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数(2023年1月11日時点)(HP)
24日	【論文紹介 90】 「SARS-CoV-2 感染経過における家庭用抗原検査と RT-PCR およびウイルス培養の比較」(HP)	
27日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数(2023年1月25日時点)(HP)
2月10日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数(2023年2月8日時点)(HP)
16日	【論文紹介 91】 「コロナウイルス感染症透析患者におけるニルマトレルビル/リトナビル変更用量の初期経験 2019」(HP)	
20日		令和5年3月13日以降の透析施設におけるマスク着用の考え方について(HP)
24日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数(2023年2月22日時点)(HP)
28日	【論文紹介 92】 「VV116(重水素化レムデシビル臭化水素酸塩)の経口投与の有効性について:ニルマトレルビル+リトナビルとの非劣性比較試験」(HP)	